

出題年度：2024 年度

<問 1>

【出題意図】

- ・新聞記事における古書を使ったイベント(ドミノ倒し)の目的と投書の反対記事との両者の記事を読み解き、踏まえながら、単なるイベントの賛否の感想にならずに、自身の意見・主張を筋道立てて論理的に組み立てることができる。
- ・こうした内容に加え、「有形」(書籍)と「無形」(デジタル資料)をはじめ、人類の「知」や「記憶」、本の「所有」と「消費」、図書館における「蔵書群」「コレクション」等、図書に内包された特質そのものを含めて幅広く論じることができる。
- ・制限字数内で一貫性のある主張と適切な構成を持った文章を作成することができる。

【模範解答(要点)】

題名：「有形」の図書から「無形」の電子資料への変化

模範解答の事例として、以下の内容を含めて論じられていることが望ましい。

- ・図書館における本のドミノ倒しのイベント開催について、自身の意見を筋道立てて賛成か反対かが述べられていること。
- ・本を用いたドミノ倒しについて、両者の主張を踏まえながら、その長所と短所が整理されていること。
  - 長所の例：図書館の開館イベントの盛り上げ、図書館への注目、集客、広報に結びつく、不要になった本(古書)を用いる、換金し図書館へ寄付、等。
  - 短所の例：図書館は本を大切にし、本に親しむ場所、本は「モノ」ではない、換金が有効活用なのかどうか、注目を集めるだけ、等。
- ・ビブリオバトル等、本を媒介としたイベントの特徴や電子書籍(電子コミック)等、無形のデジタル資料の拡大等を含めて、「有形」としての本に対する考えが、これまでの経験を踏まえて触れられていること。